

環境と福祉の連携による 使用済衣類の循環を通じた 「地集地活」 事業報告書

実施団体名

認定NPO法人中部リサイクル運動市民の会

1. 対象地域の概要

人口	2,340,026人 (令和7年12月1日現在)	世帯数	1,196,466世帯 (令和7年12月1日現在)
年齢構成	・ 18～64歳までの人口が約6割を占めている		
名古屋市の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東京と大阪の間に位置し中京圏の中心都市 ・ 交通アクセスが非常に便利で名古屋駅を中心に新幹線、地下鉄が整備されている ・ 1999年に「ごみ非常事態宣言」が発令され、その後リサイクル活動が活発化 ・ 99年当初100万tだったごみ量が54万tまで減少（2024年現在） 		
本事業の対象地区	<ul style="list-style-type: none"> ・ 名古屋市内全域を対象とし、主に公共施設や大学を中心に拠点をつくる ・ 回収拠点の設置と合わせ、循環フェス名古屋など衣類循環の啓発イベントを実施 		
リユースの取り組み (弊会の取り組み)	<ul style="list-style-type: none"> ・ リユース&リサイクルステーション（市内23か所）を開催（弊社主催） ・ 環福連携で進めるチャリティショップ「Re☆ショップ」（市内7拠点）を運営 		

人口	67,682人 (令和7年 5月現在)	世帯数	31,441世帯 (令和7年 5月現在)
年齢構成	・ 65歳以上の高齢者が26%を占めている		
豊明市の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・ 名古屋市に隣接し、都市機能と自然が調和した地域 ・ 落ち着いた住宅街が広がり、ファミリー層に人気 ・ 家庭系の一般廃棄物の排出量は年間14,097t（2024年度実績） ・ そのうち資源物は2,935tで、資源物の中で衣類・布類の回収量は187t 		
本事業の対象地区	・ 共生交流プラザカラットを拠点として、幅広く衣類循環の協力を市民に呼び掛ける		
リユースの取り組み (弊会の取り組み)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環福連携で進めるチャリティショップ「Re☆ショップ」（市内1拠点）を運営 ※2025年9月末を持って閉店		

2. 事業の目的

■使用済衣類に関する名古屋市の課題

- ・名古屋市の2023年度における使用済衣類の回収量は2,308tで、リサイクル率（資源化率）は**10%程度**となっている。
- ・古紙やびん、缶類のリサイクル率は**概ね80%台**を維持しており、衣類のリサイクル率が非常に低い。
- ・一方で使用済衣類のリサイクルが低調にとどまっている理由の一つに、**地域での資源回収の場所と頻度が少ない**点にあると考えている。
- ・集団資源回収の品目をみると、古紙に関しては、常設の古紙回収ボックスなどの設置が増えて市民の排出機会は増えているが、使用済衣類が含まれない場合がある。あったとしても古紙に比べて嵩張るため回収率が悪く、古紙回収ボックスを設置する古紙回収事業者は使用済衣類の専門ではないため、**使用済衣類回収のインセンティブ**が働きにくい。
- ・名古屋市では1999年に発令された「ごみの非常事態宣言」後の25年間で、市民・企業・行政の連携協力により、40%のごみ減量に成功している。このことは**行政との連携**は実効性を伴うことを示しており、リサイクル率の低い使用済衣類の回収においても行政が市民・企業との連携強化を図ることが課題となっている。

2. 事業の目的

■課題への対応策

①常設用回収ボックスの設置による回収

協力頂く施設の屋内に回収ボックスを常設し、施設営業時間帯に随時回収する

②イベントを通じての回収

名古屋市の施設や公園などで開催される土日「環境イベント」や「循環イベント」を通じて使用済衣類の回収及び啓発活動を行う

■回収後の使用済衣類活用方法について

①環境と福祉の連携（環福連携）を目的に運営するチャリティショップでの販売

- 名古屋市内等で当会及び当会と連携する障がい者支援団体が運営するチャリティショップ（全8店舗、うち隣接豊明市1店舗）にて販売する。
- 当該チャリティショップで得られた売上は、当会の非営利活動及び当会と連携して店舗を運営する非営利団体に所属する障がい者の方々の工賃として活用する。

②名古屋市内で暮らす生活困窮世帯への提供

- 当会は、名古屋市を中心にDV被害などを背景としたシングル世帯への住居支援を実践している非営利団体と連携しており、シングル世帯向けの使用済衣類の低価格販売会などを開催し、必要な衣類を必要な数量で提供する。

2. 事業の目的

③使用済衣類の循環を促進する動機づけとしての無償回収と提供

- ・使用済衣類を当会が設置する回収ボックスに市民が持ち込むことで、間接的に社会貢献活動に参加できることとなり、幅広い市民からの共感による、使用済衣類の地域循環促進を促す。
- ・イベントを通じて回収衣類を広く市民に提供し、古着の循環の輪に加わる市民を拡げる。

④若手デザイナーとの連携による古着古布のアップサイクル素材に活用

- ・当会が現在進めている、古着古布のアップサイクル事業「ニューサイクルファッション（以下、NCF）」において素材として提供し、古着古布の付加価値を高めて、利用を促進する。
- ・目下、デザイナー系専門学校とのタイアップや若手デザイナーとの連携により、回収した古着古布をもとにNCFの供給システムを構築中である。具体的には専門学校カリキュラムにアップサイクルデザインを取り入れ、製品作りと販売まで取り組む。

⑤この地域で営業する民間の古着屋へ卸販売

- ・若者の間でニーズの高い古着を民間の古着屋へ卸販売し、リユースを促進することで廃棄を削減し、あわせて当該仕組みの継続的な運営のための当会の財政基盤を確立する。

⑥廃棄0にむけたリユース・リサイクルルートへの投入

- ・上記で活かしきれないものは全量、通常古着問屋ルートで国内外のリユース又はリサイクルルートに乗せる。なお、リサイクルはウェス、反毛として再利用されていく。

3. 事業の内容

■全体概要

- ・常設回収BOXの設置と、各種イベントでの衣類循環の啓発活動（回収含む）とを組み合わせることで、この地域の衣類循環率の向上を図る。
- ・次世代を担う大学生が関われる仕組みを構築することで、この地域に新たな衣類循環のムーブメントをつくる。
- ・衣類循環と障がい者就労支援を組み合わせることで、環境と福祉両面における地域課題解決に繋げる。

■具体的な取り組み内容

- ①公共施設等への衣類回収BOXの設置
- ②行政・大学生・企業等と連携したイベントの企画運営
- ③回収した衣類の多用途活用
- ④衣類循環に関する市民アンケートの実施

3. 事業の内容

■衣類の多用途活用について

- ・当該モデル事業では、通常のリユース・リサイクル以外に以下の用途への活用も想定している。

～生活困窮世帯への提供～

- ・DV被害などのシングル世帯への居住支援を実施しているNPO法人及び生活困窮世帯を抱える自治体と連携し、要請を受けた際に予め弊会で仕分け保管している衣類を低価格または無償で提供する。

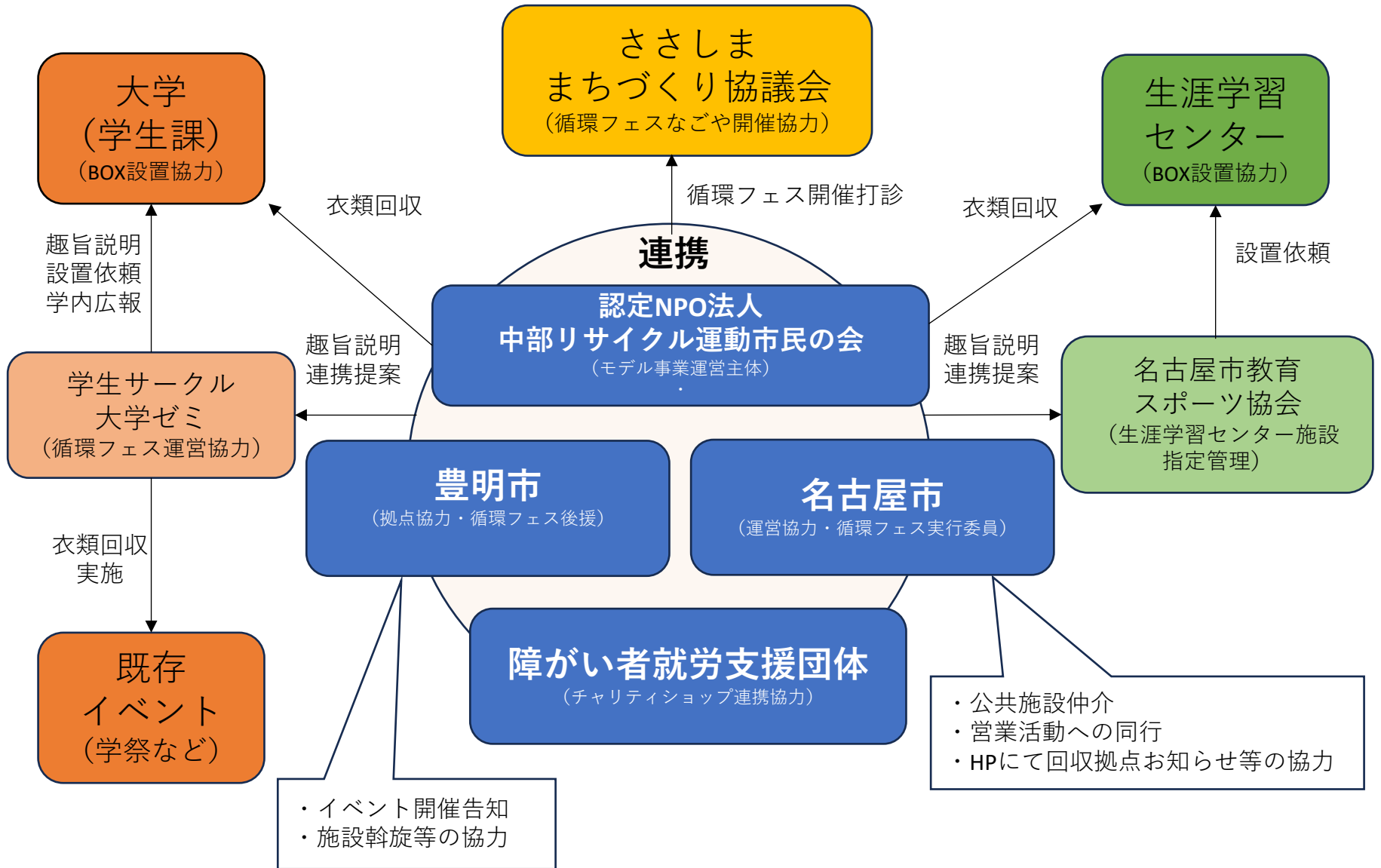
～デザイン専門学校との連携によるアップサイクル～

- ・デザイン専門学校の授業の一環として、回収した衣類のアップサイクルを行う。

4. 事業の実施体制

団体名	役割	協議・調整の有無と内容
認定NPO法人中部リサイクル運動市民の会	運営主体	
名古屋市環境局資源循環企画課	各種団体紹介・イベント開催・ 循環フェス運営	
公益財団法人名古屋市教育スポーツ協会	BOX設置場所の提供	事務局へ設置提案及び調整
愛知大学	BOX設置場所の提供	学生課へ設置提案及び調整
愛知大学国際協力団体SEED	学生課への提案・BOX管理・普及啓発・ 循環フェス運営	
南山大学	BOX設置場所の提供	学生課へ設置提案及び調整
南山大学総合政策学部「前田ゼミ」	イベント運営 (総合政策学部25周年記念イベント)	総合政策学部教授と調整
南山大学SDGs普及啓発団体CLOVER 南山大学エコファッション	学生課への提案・申請書類の作成・ BOX管理・普及啓発・循環フェス運営	
南山大学食品ロス削減団体HANDinHAND	既存イベントでの回収	
名古屋市立大学 「伊藤ゼミ Global Justis Project」	BOX設置場所の提供	ゼミ側からの依頼
一般社団法人ささしままちづくり協議会	循環フェス名古屋開催協力	事務局とイベント開催調整
豊明市共生社会課	回収イベント開催協力	
(株)折兼	BOX設置場所の提供	
(株)ヒューマンフォーラム	BOX「リリースキャッチ」の提供	
障がい者就労支援団体	チャリティショップでの衣類回収と販売	

4. 事業の実施体制

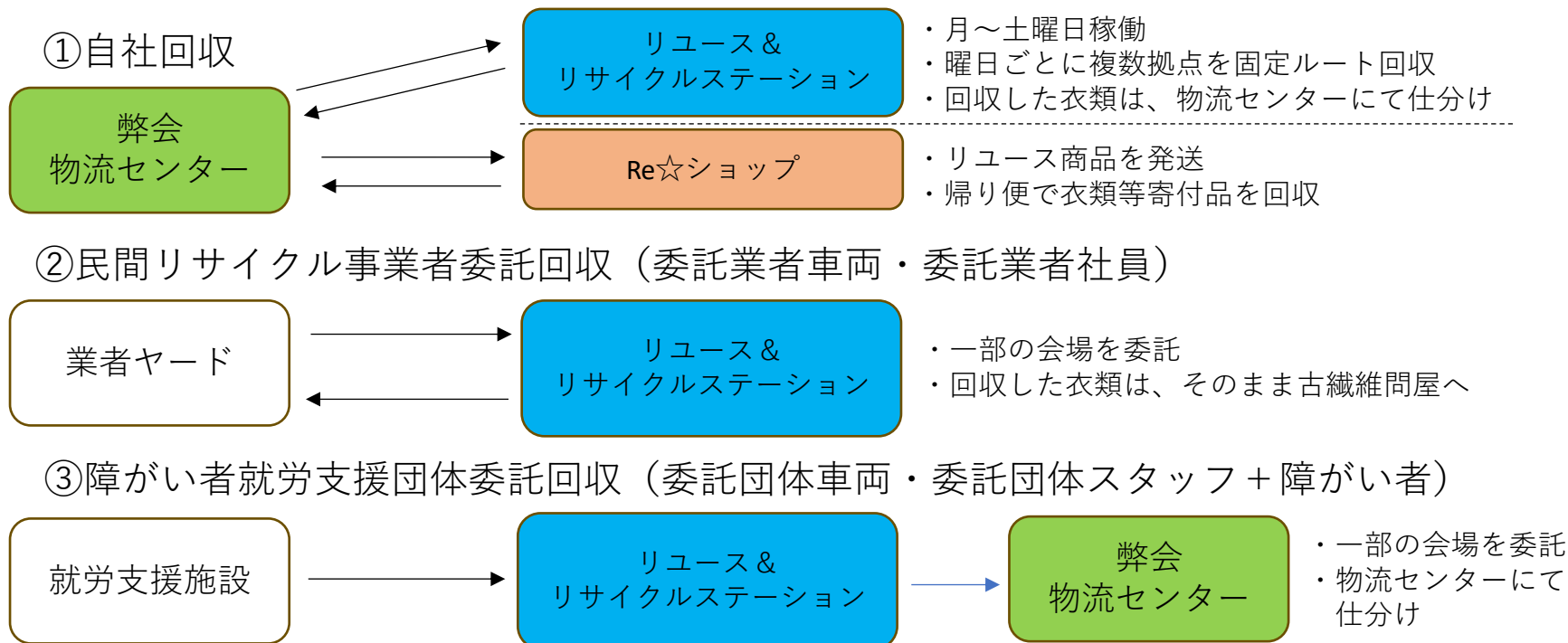


4. 事業の実施体制

■ 弊会基本情報（既存事業）

所有車両種類	台数	運搬スタッフ数	衣類回収拠点種類	拠点数	衣類回収量 (24'年実績)
①2t平ボディトラック	1	4名	リユース&リサイクルステーション	23	134.5t
②ハイエース	2		エコロジーセンターRe☆創庫あつた ※物流センター併設	1	
③軽ワンボックス	1		Re☆ショップ	7	85.3t

■ 既存事業での衣類回収方法（3パターン）



※多くの就労支援施設は、送迎用のワンボックスカーを所有しているが日中は活用されていない。
それらの車両の有効活用+障がい者の仕事づくりの一環として回収を委託。

4. 事業の実施体制

■ 弊会基本情報（既存事業各拠点）

リユース&リサイクルステーション（市内23か所）



チャリティショップ（市内7店舗）



エコロジーセンターRe☆創庫あつた
（物流センター併設）



仕分けスペース（物流センター内）



4. 事業の実施体制

■ 弊会基本情報（既存事業各拠点）

会場一覧PDF「リサイクル資源を出す」

認定NPO法人中部リサイクル運動市民の会

2024年2月現在

エコロジーセンターRe☆創庫（資源回収・リユース品寄付受付・リユース商品販売）

区	施設名	営業日	営業時間	所在地
熱田区	エコロジーセンターRe☆創庫 あつた	毎日	10時～17時	熱田区八幡2-19-16

リユース&リサイクルステーション（資源回収・リユース品寄付受付）

開催時間：10時～12時 ※雨天決行・荒天中止

区	会場名	開催日	開催場所	
千種区	イオンタウン千種	第1・3木曜日	千種区千種2-16-13	マックスバリュ前平面駐車場
	アビタ千代田橋店	毎週金曜日	千種区千代田橋2-1-1	店舗南側平面駐車場
東区	イオンモールナゴヤドーム前店	第4木曜日	東区矢田南4-102-3	平面駐車場「イオンバイク」前
北区	ピアゴ味鋸店	毎週木曜日	北区楠3-606	店舗前駐車場東側
	オズモール大曽根商店街	第1・3金曜日	北区大曽根2-10-6	商店街内
	エクボ辻町店	毎週土曜日	北区辻町1-37	店舗前駐車場
西区	ヨシヤマ名古屋西店	第2・4月曜日 ※原則、祝日休止	西区名西2-33-8	平面駐車場東側
中村区	ピアゴ中村店	第2・4月曜日	中村区大門町27	店舗前駐輪場
	八田フランチ館	第1・3水曜日	中村区岩塚町西枝1-1	平面駐車場南
	パレマルシェ中村店	第2・4木曜日	中村区剣町1	南駐車場
昭和区	八事ハウジング	第2・4水曜日	昭和区八事本町16	駐車場
瑞穂区	パロー瑞穂店	第1・3火曜日	瑞穂区豆田町5-2	店舗前駐車場
南区	DCM元塩店	第1・3火曜日	南区元塩町4-20-1	平面駐車場北東角
	アビタ名古屋南店	第1水曜日	南区豊田4-9-47	店舗北平面駐車場
守山区	清水屋藤ヶ丘店	第1・3月曜日	守山区森孝東1-509	森孝東パーキング
	ピアゴ西城店	第2・4金曜日	守山区村舎町175	店舗北側駐車場
緑区	アビタ鳴海店	毎週木曜日	緑区鳴海町伝治山3-9	平面駐車場西側出入口付近
	ピアゴ清水山店	毎週土曜日	緑区清水山1-501	店舗北側駐車場奥
	エクボもも山店	第1・3土曜日	緑区桃山4-342	店舗前駐車場西側出口横
名東区	イオン名古屋東店	第4火曜日	名東区狛子石原2-1701	店舗正面第1駐車場
	西友高針店	毎週土曜日	名東区牧の里1-401	第3駐車場
	イオンメイトピア店	毎週火曜日	名東区高岡町501-1	屋上駐車場北西側
天白区	ピアゴ桶田店	毎週金曜日	天白区元桶田1-302	店舗南西奥駐車場

4. 事業の実施体制

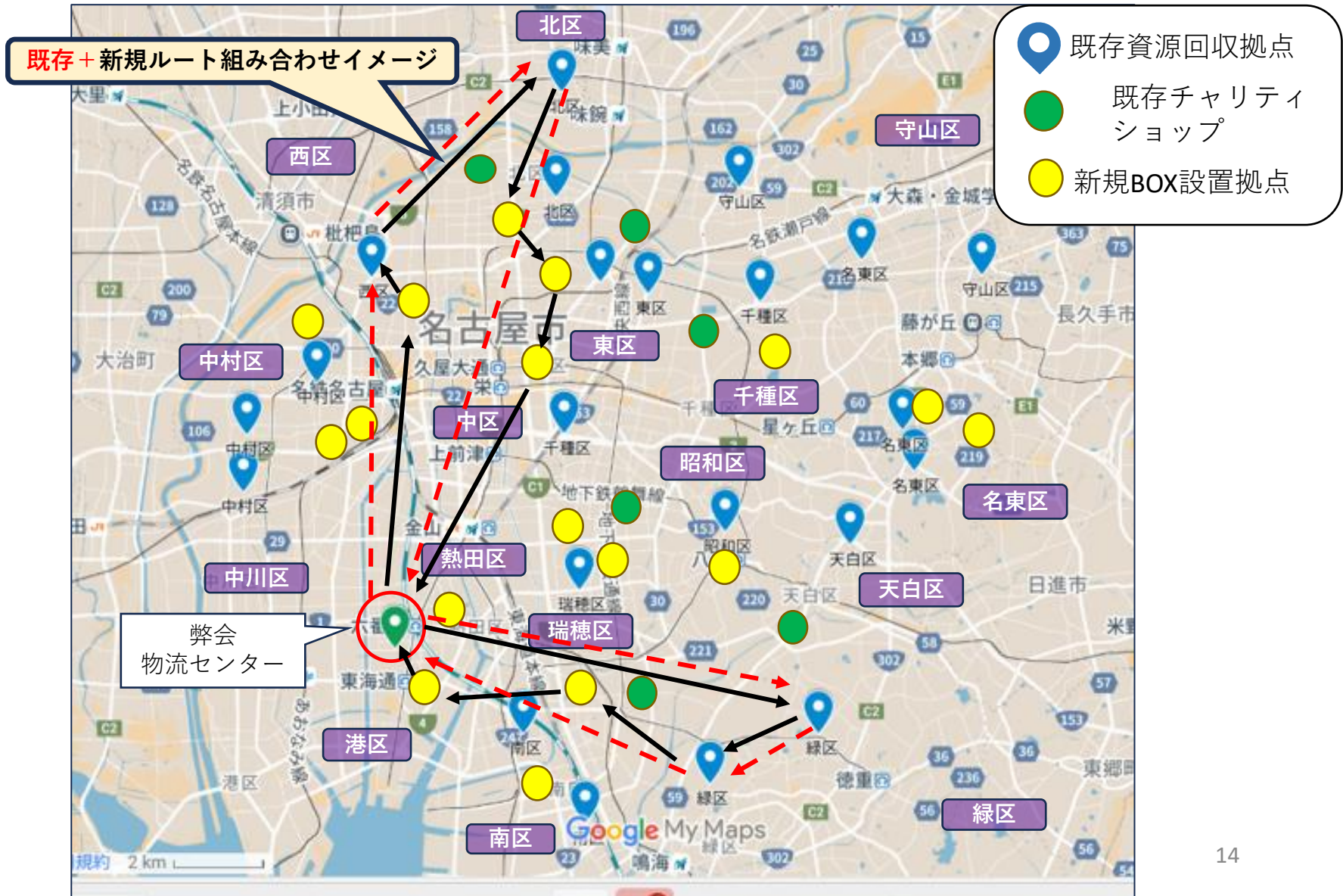
■ 弊会基本情報（既存事業各拠点）

- ・ 弊会と弊会が連携する障がい者就労支援団体が運営するチャリティショップ
- ・ 市民から寄付されたりユース品の販売と寄付品（家庭の不用品）の受け取りを実施
- ・ 各拠点で受けた寄付品は全て弊会物流センターにて仕分けを実施
- ・ 弊会物流センターから毎週リユース商品を発送

店名	住所	主体
Re☆ショップあつた	熱田区八番2-19-16	弊会
Re☆ショップさくら	南区松城町2-45荒川ビル1F	弊会
Re☆ショップよしの	東区芳野3-13-2後藤ビル1F	弊会
Re☆ショップなかたbyぐるっぺ	千種区仲田1丁目9-12ワークルーム・ぐるっぺ1F	NPO法人アダージョちくさ
Re☆ショップあいおいやまbyOZ	天白区久方1丁目148番地相生山住宅52棟108番地	NPO法人あたたかいところ
Re☆ショップさくらやまby育成会さくらやま	昭和区塩付通3丁目19番地1	社会福祉法人名古屋手をつなぐ育成会
Re☆ショップこうじょう軒下店byスィーピー	北区金城町4-5	NPO法人ポパイ

4. 事業の実施体制

弊会が運営する既存の資源回収拠点(23か所)と
当該モデル事業で設置した新規衣類回収BOX(施設拠点16か所)分布図 (名古屋市16区)



4. 事業の実施体制

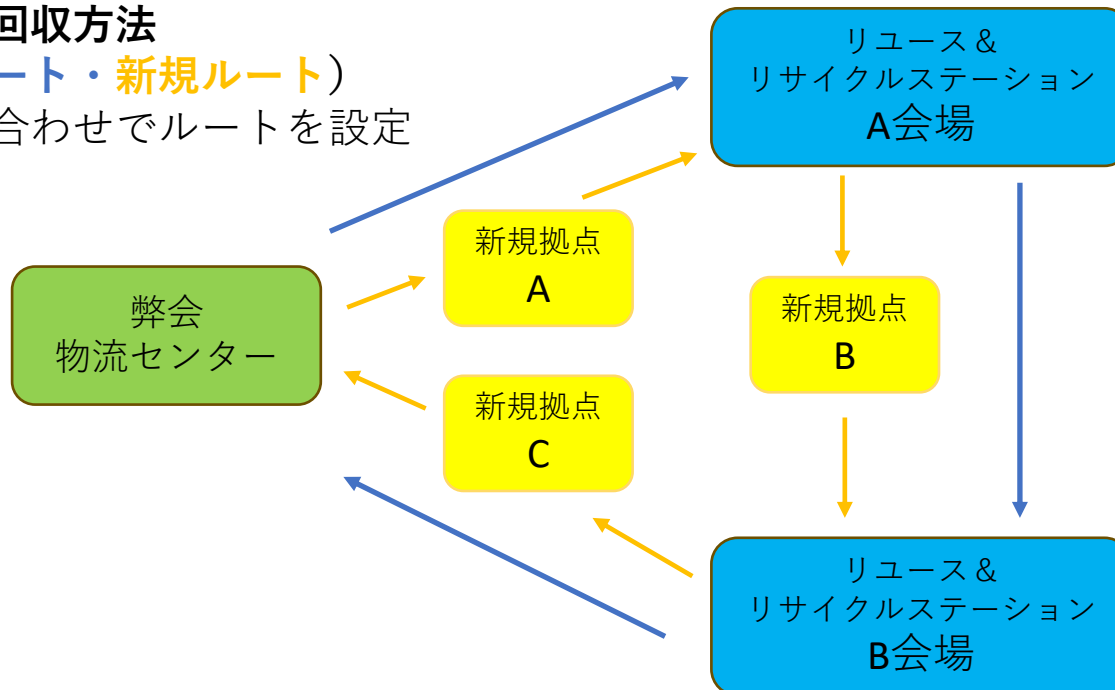
■運搬についての考え方

- ①既存拠点の運搬ルート（固定）を活用し、
新規拠点との効率的な組み合わせで新ルートを設定する。
→追加コスト・CO2発生を抑制したルートで回収可能
- ②各拠点からの回収依頼後、1週間以内に回収する。
→拠点の負担感を軽減し、継続的な連携が可能
- ③各拠点には、45ℓの袋で5～10袋の保管を依頼する。
(重量換算：8kg程度/袋 →1拠点あたり40～80kg保管)
→既存拠点収集車両のすきまスペースに積み込み可能な量のため無駄のない回収が可能

■新規の衣類回収方法

(既存固定ルート・新規ルート)

・最適な組み合わせでルートを設定



4. 事業の実施体制

■既存の仕組みの概要（市民の持ち込み～弊会での活用イメージ）

- ・各家庭で、リサイクル衣類とリユース衣類の分別協力を依頼している。（2009年～）
- ・下図①～⑥の用途で活用している。（地域リユースを優先）
- ・市内7店舗のチャリティショップで販売し、収益は非営利活動に還元されている。
- ・市内7店舗のうち4店舗は障がい者就労支援団体との連携店舗となっており、リユース品の販売が、障がい者の仕事づくりと工賃に繋がっている。（環境×福祉）
- ・弊会で活用しきれない衣類は全量古繊維問屋へ流れており、弊会での廃棄量はゼロとなっている。

各家庭 での仕分け	持ち込み	弊会回収拠点	%		%
リサイクル衣類 (使用感:多) 全体の 約6割	①	チャリティショップ販売用に仕分け	25	国内リユース	38
	②	生活困窮世帯への提供	数十枚/年		
	③	イベント用として仕分け	1.5		
	④	アップサイクルでの活用	数十枚/年		
	⑤	民間古着屋へ売却	1.5		
	⑥	古繊維問屋へ売却	72		
リユース衣類 (使用感:少) 全体の 約4割	①	チャリティショップ販売用に仕分け	50	国内リユース	80
	②	生活困窮世帯への提供	数十枚/年		
	③	イベント用として仕分け	20		
	④	アップサイクルでの活用	数十枚/年		
	⑤	民間古着屋へ売却	10		
	⑥	古繊維問屋へ売却	20		

4. 事業の実施体制

衣類【一次仕分け:チェック項目】

2. 首回りの汚れ

- ・黄ばみはないか

3. 全体の汚れ

- ・大きな汚れはないか
- ・やぶれはないか

5. ファスナーの動き

- ・壊れていないか
- ・固くないか



1. ポケットの中身

- ・何か入っていないか
(貴重品等はマネージャーへ)
- ・やぶれはないか

4. 袖口の汚れ

- ・汚れはないか

6. スーツ

- ・セットでない物は、
リサイクルへ
- ・ネーム有のものは、
リサイクルへ
(礼服はOK、英字のみ↓)

漢字×	山田
ローマ字○	T. Yamada
仁字○	T. Y

4. 事業の実施体制

～仕分けの流れ～

- ・ステップ1：古着屋によるピックアップ
- ・ステップ2：弊会ボランティアによる仕分け

○考え方：古着屋への卸販売は、全体の10%前後ではあるが販売単価が高く、定期的な売り上げに繋がるため優先順は高い。

また、弊会のターゲット層及び仕分け基準とは異なり、そもそもあまり活用していなかった衣類であるため、双方にとってwinwinの関係性が成立している。

卸販売及びチャリティショップへの仕分けから漏れたものの中で若者向けの衣類が¥0Marek用となる。

～ターゲット層の分類～

- ・10代～30代向けの衣類は、①古着屋、②循環フェス名古屋などへ
- ・それ以外（幼児用含む）は、弊会のチャリティショップでの販売へ

	対象年代	仕分け基準	活用先	活用後
回収衣類	若者向け衣類 ※10代～30代	デザイン・ブランド ※シミ汚れの有無よりデザイン性重要視	古着屋へ卸販売 ※古着問屋が弊会物流センターにて直接仕分け	残渣は発生しない
		デザイン・ブランド ※古着卸販売ではじかれたもの	イベントで活用 ¥0Marketなど ※残ったものは古繊維問屋へ売却	古繊維問屋へ
	30代以上向け	シミ・汚れなどの有無 ※デザイン・ブランドが良くてもシミ汚れがあればNG	弊会チャリティショップで販売 ※陳列したものの3～4割が実際に売れる ※売れ残り品は全て古繊維問屋へ売却	古繊維問屋へ
	年代関係なく	シミ・汚れなどが多い デザイン等がターゲット層に合わないもの	古繊維問屋へ売却	

5. 事業の成果

■当該モデル事業で設置した衣類回収BOXの施設等一覧

回収場所の属性	回収場所の名称	
公共施設	1	千種区生涯学習センター
	2	北区生涯学習センター
	3	西区生涯学習センター
	4	中村生涯学習センター
	5	瑞穂生涯学習センター
	6	熱田生涯学習センター
	7	港生涯学習センター
	8	南生涯学習センター
	9	名東生涯学習センター
	10	JICA中部
	11	豊明市共生交流プラザカラット（2階）
大学等	1	愛知大学
	2	南山大学
	3	名古屋市立大学
	4	鯉城学園

5. 事業の成果

■当該モデル事業で設置した衣類回収BOXの施設等一覧

回収場所の属性	回収場所の名称	
一般施設	1	プロステーション御器所店
	2	プロステーション名東店
	3	エコロジーセンターRe☆創庫あつた
	4	Re☆ショップさくら
	5	Re☆ショップよしの
	6	日本陶磁器センタービル5階（弊会事務所）
	7	グリーンフェロー（マンション・商業施設）
	8	小島良太郎商店
イベント	1	KOZOJI ICONIC MARKET minimini
	2	Social tower Market
	3	HAND in HAND 食品ロス削減イベント
	4	環境デーなごや2025
	5	循環フェス名古屋
	6	名古屋市リユース品回収実証実験@南リサイクルプラザ
	7	豊明市共生交流プラザカラット（体育館）
	8	南山大学総合政策学部25周年記念イベント

5. 事業の成果

■衣類回収BOX設置営業用資料



環境省
令和6年度補正予算 使用済衣類回収のシステム構築に関するモデル実証事業

衣類回収BOX設置のご提案

- 貴社SDGs活動の一環として
- 循環型社会実現に向けて

主催団体(問い合わせ先)
認定NPO法人中部リサイクル運動市民の会
〒461-0002
名古屋市東区代官町39-18 日本陶磁器センタービル5層
TEL.052.982.5029 担当:永田秀和
連携協力:名古屋市環境局資源循環企画課

BOX設置のメリット

- 社内SDGs活動の推進
…名古屋市内の衣類のリサイクル率はわずか10%(古紙類は80%に対し)に留まっています。
衣類のリサイクル率向上は、地域のごみ減量に直結します。
- 社会貢献活動への社員参加
…社員のみなさんの参加(衣類の持ち込み)を促すことで、環境意識向上に繋がります。
- 集客増効果
…名古屋市内では古着の回収拠点が少ないため回収BOX設置による集客が見込めます。
名古屋市の公式HPなどで回収拠点が紹介されます。
- 地域住民とのコミュニケーションツールに
…回収品目などの話題と共に、衣類リサイクルについてお話をするきっかけになります。

運用イメージ

- ◆ 貴社:①BOXの設置・管理 ②衣類の保管(45×5~10袋) ③回収依頼の連絡
- ◆ 弊会:①BOX準備 ②BOX設置場所告知(@循環フェス名古屋など) ③回収 ④仕分け
- ◆ 名古屋市:①BOX設置場所の告知(名古屋市HPなど)

リリースキャッチ BOXサイズ



幅 45cm
高さ 108cm
奥行 40cm

リリースキャッチ 内袋



高さ 89cm
幅 78cm

5. 事業の成果

■大学への回収BOX設置

- ・当該モデル事業内で、市内3つの大学との連携が実現した。

～設置までの流れ～

- ①学生サークルに協力要請
- ②学生課へのBOX設置申請（設置場所・保管場所・ポスター等の掲示場所についての申請含む）
- ④学生サークルと管理方法協議
- ⑤学生による広報とBOX管理（回収・保管・回収要請）

～必要備品～

- ①回収BOX必要数
- ②布台車（弊会準備 右写真）
- ③掲示物（ポスター・回収ルールなど）

～設置からの動き～

- ①回収衣類の収集保管（学生）
※学生の負担が大きくなるため、複数名の協力が必要
※学内での保管場所の確保が必須
- ②衣類回収の呼びかけ（学生）
※学生の主体的な参画が必須
- ③回収要請（学生→弊会）
- ④車両入校許可申請（学生）
- ⑤回収（弊会）
※保管場所から駐車場までの運搬は学生の協力必須

【布台車イメージ】



この台車で収集保管するため、
45ℓの袋で5～10袋程度積めるサイズが望ましい
今回は236ℓのものを使用

5. 事業の成果

■回収BOX設置場所写真（一部抜粋）

JICA中部

生涯学習センター



5. 事業の成果

南山大学学内

- ①S棟3階エレベーター前
- ②C棟1階ゴミ箱の横
- ③G棟2階真ん中のごみ箱の横
- ④R棟入り口近くの階段横
- ⑤Q棟



5. 事業の成果

■衣類回収・啓発イベントの開催

環境デー名古屋2025



名古屋市 リユース品回収実証実験
@南リサイクルプラザ
(2025年度 4回実施)



5. 事業の成果

KOZOJIICONICMARKETminimini



Social tower Market



循環フェス名古屋



南山大学総合政策学部25周年記念事業



5. 事業の成果

■告知媒体

南山大学学生が作成した校内普及啓発ポスター

社会を変える力を集める

衣服の循環

「地集地活」×SDGs
いつでも誰でも気軽に参加できる！

常設

10月10日～11月28日

回収した衣類を活用する
支援先を選べる衣服回収プロジェクト

回収対象：衣類全般
(詳細は、回収BOX「回収ルール」参照)

BOX場所

S棟3階エレベーター前
C棟1階ゴミ箱の横
G棟2階真ん中のごみ箱側
R棟入口近くの間段横
Q棟2階のエレベーター前

このボックスに
衣類を一着からでも
気軽に入れてね！！

南山大学での衣類回収プロジェクトは、南山大学SDGs普及啓発団体CLOVERの衣類回収プロジェクトを中心とした学生が名古屋市役所、認定NPO法人中瀬リサイクル源流市民の会との協働により実施しています。
なお、回収効果などの検証をJSPS科研費JP21K12355（研究代表者：前田洋枝 南山大学総合政策学部教授）の一環として行ないます。

問い合わせ iruikaishu.nanzan@gmail.com



Clothes collection rules

衣類の循環
「地集地活」×SDGs

開催期間10月10日～11月28日
南山大学SDGs普及啓発団体CLOVER
衣類回収プロジェクト

回収ルール

古着として再利用を目的とした回収を行いますので、
洗濯したものをお持ちください。

回収NG

- ・下着、肌着、靴下などは×
- ・帽子、バッグ、靴などの雑貨は×
- ・濡れている、カビなどは×

回収OK

- ・多少の毛玉、シミ、汚れ、破れは○
- ・マフラーは○
- ・着物、浴衣○

・再用品などが入らないようご注意ください
・回収された商品の返還はできません
※集められた物は選別を行いますが、多くは古着としてそのまま再利用されます



5. 事業の成果

■循環フェス名古屋 当日の様子



DRILL(防災と食のイベント)

循環フェス名古屋

愛大祭

5. 事業の成果



【¥0 Market 衣類3枚無料/ひとり】



【企業ブース リペアワークショップ】



【衣類回収ブース】

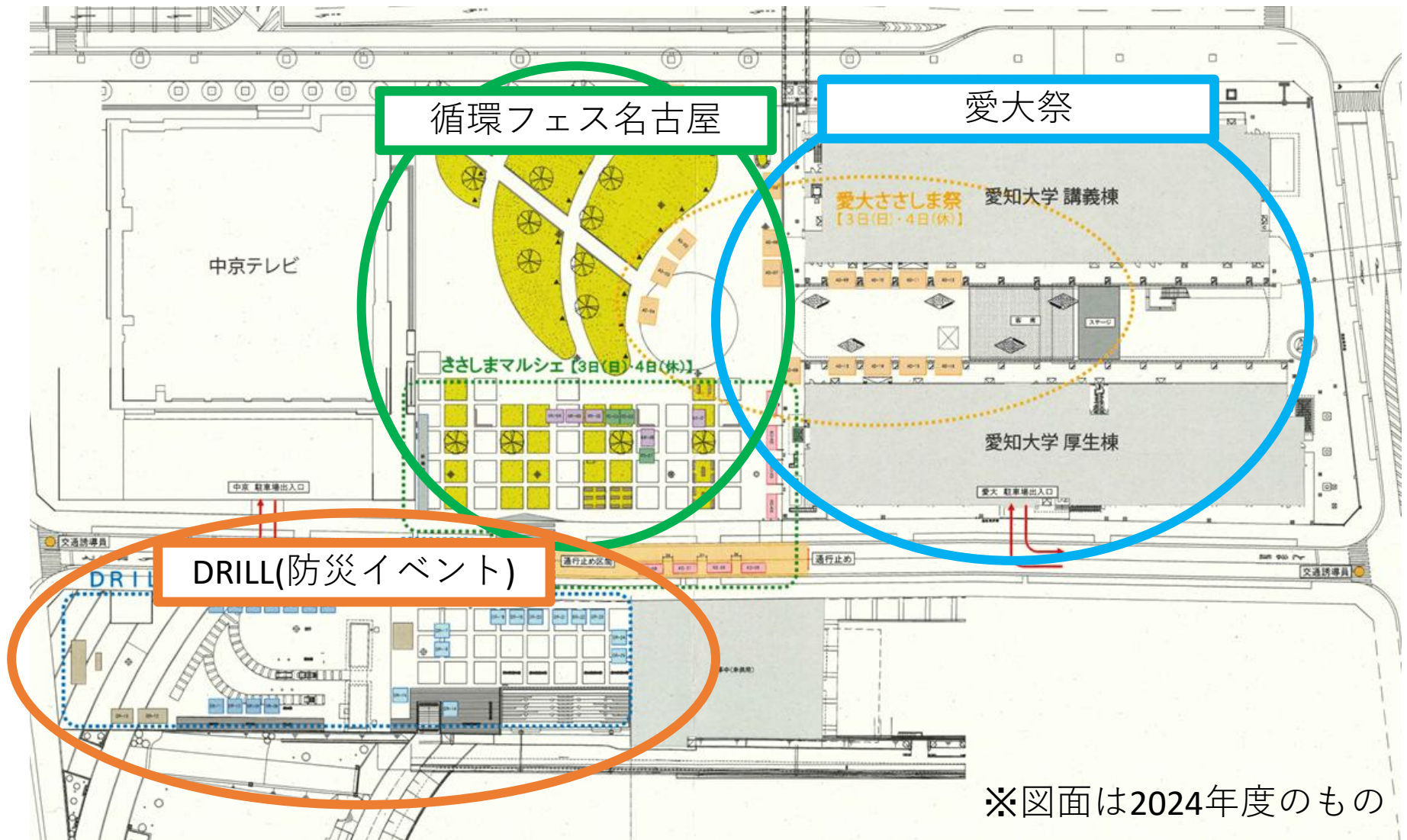


【学生ブース ラグマットづくり】

5. 事業の成果

■循環フェス名古屋 会場全体図

「愛大際」×「循環フェス名古屋」×「DRILL」の3団体による連携でイベント開催



※図面は2024年度のもの

5. 事業の成果

■循環フェス名古屋 開催実績



2025年11月2・3日（日・月祝）@ささしまライブ

開催実績

- ①来場者数：約5,400人
- ②当日運営ボランティア：延べ約80名
- ③出店団体：24団体
- ④出店ブース数：43ブース
（¥0 Market・回収ブース除く）
- ⑤古着回収量：307kg(約1,228着)
- ⑥古着リユース量：2,251着（約562kg）
- ⑦LINE登録者数：1,079人



5. 事業の成果

■循環フェス名古屋 CO2削減効果

2025年11月2,3日開催分 服の循環とCO₂削減量

①持ち帰られた服の量
約562.75kg (2251着) *

②持ち込まれた服の量
約307kg (1228着) *

③CO₂削減量
約57.85 t-CO₂

*1着250g換算

~~~~~

CO<sub>2</sub>の削減量は

①持ち帰られた服と同量の衣類が新たに製造される場合に発生するCO<sub>2</sub>量と  
②持ち込まれた服と同量の衣類が廃棄される場合に発生するCO<sub>2</sub>量の合計値として下記の通り算出しています。

①新規衣服の製造に係るCO<sub>2</sub>の削減量

新製品の製造に係るCO<sub>2</sub>排出量\*125.5(kg/着) × リユースした衣服量(着)

$$\Rightarrow 25.5(\text{kg/着}) \times 2251\text{着} = 57401(\text{kg-CO}_2)$$

②使用済衣服の廃棄に係るCO<sub>2</sub>の削減量

合成繊維割合\*263.6% × 排出係数\*32,287(kg CO<sub>2</sub>/t) × 回収量(t)

$$\Rightarrow 0.636 \times 2,287(\text{CO}_2/\text{t}) \times 0.307\text{t} = 446.5(\text{kg-CO}_2)$$

$$\text{①}57400.5(\text{kg-CO}_2) + \text{②}446.5(\text{kg-CO}_2) = 57847(\text{kg-CO}_2) \approx 57.85(\text{t-CO}_2)$$

<算出根拠>

\*1 新製品の製造に係るCO<sub>2</sub>排出量: 1着あたり25.5kg

出展: 令和2年度ファッションと環境に関する調査業務-「ファッションと環境」調査結果 (環境省)

P.16 服1着生産するにあたり排出されるCO<sub>2</sub>は25.5kgと推計

\*2 焼却される繊維くずに占める合成繊維くず(一般廃棄物)の割合: 合成繊維割合(2019年)

: 63.6%

出展: 廃棄物分野における排出量の算定方法について一廃棄物分科会(環境省)

P.3 合成繊維割合2019年改定後: 63.6%

\*3 一般廃棄物(合成繊維くず)の焼却に伴う排出係数: 2,287(kg CO<sub>2</sub>/t)

出展: 温室効果ガス排出量算定に関する検討結果(案)(環境省)

P.164 一般廃棄物(合成繊維くず)の焼却に伴う排出係数より

# 5. 事業の成果

## ■生活困窮世帯への物資提供

- ・当該モデル事業期間内に、DV被害世帯からの物資提供依頼はなかった。
- ・また、下記の通り生活困窮世帯への継続的な支援は実施しているが、モデル事業実施期間中の衣類提供依頼はなかった。

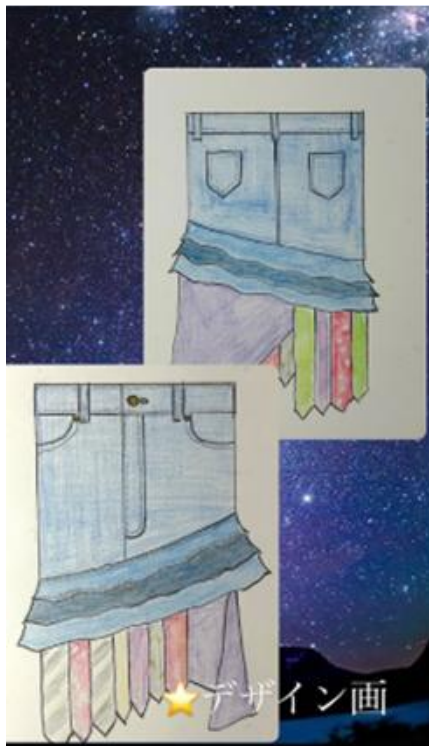
### 【生活困窮世帯への支援物資一覧 2025年4月～】

|       |      |     |                 |       |   |               |  |        |  |
|-------|------|-----|-----------------|-------|---|---------------|--|--------|--|
| 4月21日 | 新生児  | 困窮  | 肌着              |       | 5 | こだわりなし        |  | 6月出産予定 |  |
|       |      |     | チャイルドシート        | 新生児用  |   |               |  |        |  |
| 5月16日 | 女性   | 高齢者 | 長袖衣類            | L     | 5 | Tシャツまたはポロシャツ  |  | 有り     |  |
|       |      |     | 上着              | L     | 2 | カーディガンまたはフリース |  | 有り     |  |
|       |      |     | 肌着              | L     | 5 |               |  | 有り     |  |
|       |      |     | 靴下              | 24センチ | 5 |               |  | 有り     |  |
|       |      |     | パジャマ上下          | L     | 2 | 前開き           |  | 有り     |  |
|       |      |     | バスタオル           |       | 3 |               |  | 有り     |  |
|       |      |     | フェイスタオル         |       | 3 |               |  | 有り     |  |
|       |      |     | コップ             |       | 1 |               |  | 有り     |  |
|       |      |     | 靴               | 24センチ | 2 | 紐なし           |  | 有り     |  |
|       |      |     | ズボン             | L     | 5 |               |  | 有り     |  |
| 7月22日 | 男性   | 高齢者 | 水筒(500～800ml程度) |       | 1 |               |  | 有り     |  |
|       |      |     | ハンドタオル          |       | 2 |               |  | 有り     |  |
|       |      |     | リュックまたは手提げ(小さめ) |       | 1 | 色は暗めのものがあれば   |  | 有り     |  |
|       | 男性   | 若者  | 水筒(500～800ml程度) |       | 1 |               |  | 有り     |  |
|       |      |     | ハンドタオル          |       | 2 |               |  | 有り     |  |
|       |      |     | リュックまたは手提げ(小さめ) |       | 1 |               |  | 有り     |  |
| 12月5日 | 赤ちゃん | 外国人 | 抱っこひも           |       | 1 | こだわりなし        |  |        |  |
|       | 赤ちゃん | 外国人 | 抱っこひも           |       | 1 | こだわりなし        |  |        |  |

## 5. 事業の成果

### ■デザイン専門学校と連携したアップサイクル

- ・ 専門学校名古屋デザイナーアカデミーの授業の一環として、弊会が提供した素材を活用したアップサイクル授業を実施。
- ・ ここで制作した作品は、環境デーなごや、循環フェス名古屋にて展示販売を行った。



# 5. 事業の成果

## ■施設拠点回収実績

|    | 拠点名                          |    | 実施期間        | 回収実績<br>(kg) | 国内リユース量<br>(kg) | リユース率<br>(%) | リサイクル量<br>(kg) |
|----|------------------------------|----|-------------|--------------|-----------------|--------------|----------------|
| 1  | 千種区生涯学習センター                  | 新規 | 9/19～継続     | 87.35        | 67.30           | 77           | 20.05          |
| 2  | 北区生涯学習センター                   | 新規 | 9/19～継続     | 30.70        | 14.65           | 48           | 16.05          |
| 3  | 西区生涯学習センター                   | 新規 | 9/19～継続     | 18.45        | 16.35           | 89           | 2.10           |
| 4  | 中村区生涯学習センター                  | 新規 | 9/19～継続     | 33.35        | 24              | 72           | 9.35           |
| 5  | 瑞穂区生涯学習センター                  | 新規 | 9/19～継続     | 25.75        | 14.85           | 58           | 10.90          |
| 6  | 熱田区生涯学習センター                  | 新規 | 9/19～継続     | 46.95        | -               | -            | -              |
| 7  | 港区生涯学習センター                   | 新規 | 9/19～継続     | 2.8          | -               | -            | -              |
| 8  | 南区生涯学習センター                   | 新規 | 9/19～継続     | 38.80        | 27.70           | 71           | 11.10          |
| 9  | 名東区生涯学習センター                  | 新規 | 9/19～継続     | 41.65        | 31.35           | 75           | 10.30          |
| 10 | JICA中部                       | 新規 | 9/11～継続     | 58.7         | 46              | 78           | 12.7           |
| 11 | 愛知大学                         | 新規 | 9/11～継続     | 25.9         | 22.40           | 86           | 3.5            |
| 12 | 南山大学                         | 新規 | 10/10～11/28 | 330.18       | 214.6           | 65           | 115.58         |
| 13 | 日本陶磁器センタービル5階                | 新規 | 9/28～継続     | 11.25        | -               | -            | -              |
| 14 | プロステーション御器所店                 | 新規 | 10/14～継続    | 0            | -               | -            | -              |
| 15 | プロステーション名東店                  | 新規 | 10/14～継続    | 0            | -               | -            | -              |
| 16 | 豊明市共生交流プラザ<br>カラット※過去に試験的に実施 | 継続 | 9/10～継続     | 271.3        | 126.6           | 47           | 144.5          |
| 17 | グリーンフェロー                     | 新規 | 10/2～継続     | 37.7         | 24.55           | 65           | 13.15          |

## 5. 事業の成果

### ■ イベント回収実績

| 拠点名                               |    | 運営主体    | 開催日        | 回収実績 (kg) | 国内リユース量 (kg) | リユース率 (%) | リサイクル量 (kg) |
|-----------------------------------|----|---------|------------|-----------|--------------|-----------|-------------|
| KOZOJI ICONIC MARKET minimini     | 新規 | 学生      | 8/30・31    | 0         | -            | -         | -           |
| 環境デーなごや2025                       | 新規 | 弊会      | 9/12       | 80.1      | 50.7         | 63        | 29.4        |
| 名古屋市南リサイクルプラザリユース品回収実証実験          | 継続 | 弊会・名古屋市 | 9/21       | 80        | 39           | 49        | 41          |
| Hand in Hand<br>(フードロス削減イベントでの回収) | 新規 | 学生      | 10/6・11/16 | 49.40     | 41.05        | 83        | 8.35        |
| 南山大学総合政策学部25周年記念イベント              | 新規 | 学生      | 11/2       | 60.5      | 42.35        | 70        | 18.15       |
| 循環フェス名古屋                          | 継続 | 弊会      | 11/2・3     | 310.7     | 272.9        | 88        | 37.8        |
| 名古屋市立大学学園祭                        | 新規 | 学生      | 11/8・9     | 41.2      | -            | -         | -           |
| 豊明市カラット回収イベント                     | 継続 | 弊会・豊明市  | 11/3       | 163.50    | 106.75       | 65        | 56.3        |
| 鯉城学園学園祭                           | 新規 | 市民      | 11/8       | 10.9      | 8.4          | 77        | 2.5         |
| Social tower Market               | 新規 | 学生      | 12/6・7     | 0.5       | 0.5          | 100       | -           |
| 名古屋市南リサイクルプラザリユース品回収実証実験          | 継続 | 弊会・名古屋市 | 12/14      | 40        | 15.3         | 39        | 24.7        |

## 【施設拠点回収全体集計結果】

| 拠点数                    | 総回収<br>(kg)            | 国内リユース量<br>(kg) | リユース率<br>(%) | リサイクル量<br>(kg) |
|------------------------|------------------------|-----------------|--------------|----------------|
| <b>17拠点</b> (新規16・継続1) | ①1,068.63<br>※未仕分け分②61 | <b>630.35</b>   | <b>63</b>    | <b>369.48</b>  |
| 仕分け実施分 ①-②             | <b>1,007.63</b>        |                 |              |                |

## 【イベント回収全体集計結果】

| 拠点数                   | 総回収<br>(kg)           | 国内リユース量<br>(kg) | リユース率<br>(%) | リサイクル量<br>(kg) |
|-----------------------|-----------------------|-----------------|--------------|----------------|
| <b>10開催</b> (新規6・継続4) | ①836.8<br>※未仕分け分②41.2 | <b>576.95</b>   | <b>73</b>    | <b>218.65</b>  |
| 仕分け実施分 ①-②            | <b>795.6</b>          |                 |              |                |

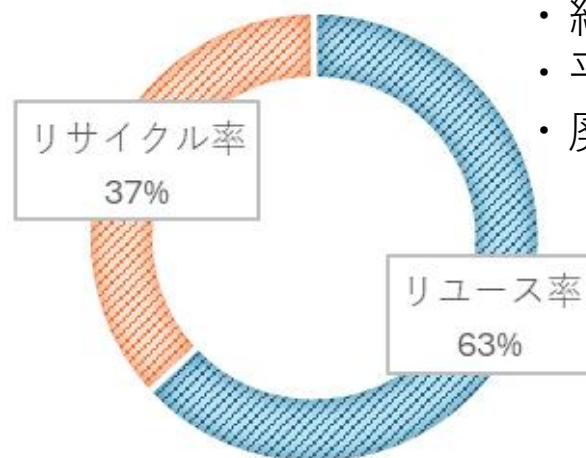
## 【「拠点回収」 + 「イベント回収」 全体集計結果】

| 拠点・開催数                         | 総回収<br>(kg)               | 国内リユース量<br>(kg) | リユース率<br>(%) | リサイクル量<br>(kg) |
|--------------------------------|---------------------------|-----------------|--------------|----------------|
| <b>27拠点・イベント</b><br>(新規22・継続5) | ①1,905.43<br>※未仕分け分②102.2 | <b>1,207.3</b>  | <b>67</b>    | <b>588.13</b>  |
| 仕分け実施分 ①-②                     | <b>1,803.23</b>           |                 |              |                |

## 5. 事業の成果

### 施設拠点実績

■ リユース率 ■ リサイクル率



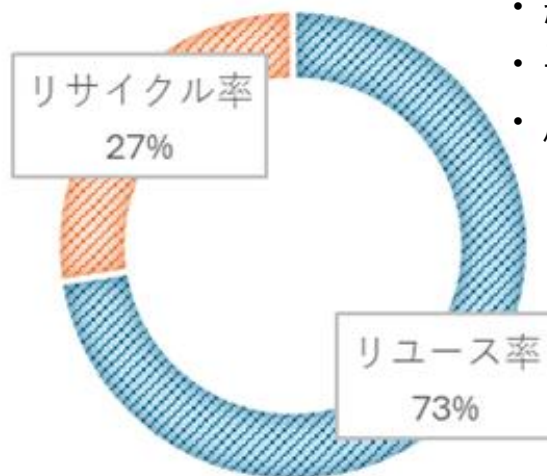
- ・ 拠点数：17施設
- ・ 総回収量：1,068.63kg
- ・ 平均回収量：63kg
- ・ 廃棄量：0kg

- ・ 施設スタッフの目が届く場所（受付前など）にBOXを設置頂いた。
- ・ 異物の混入はなく、廃棄するものはなかった。
- ・ 常設のため、設置期間が長くなれば更に認知度が上がり、利用者が増えることが期待できる。
- ・ 施設スタッフによる、主体的な声掛けが必要不可欠となる。

## 5. 事業の成果

### イベント実績

■ リユース率 ■ リサイクル率



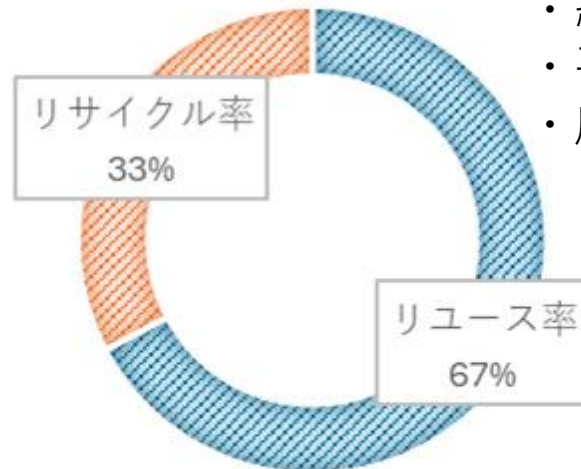
- ・開催数：10開催
- ・総回収量：836.8kg
- ・平均回収量：84kg
- ・廃棄量：0kg

- ・衣類循環の啓発と回収をセットで実施した。
- ・会場まで公共交通機関を使用してわざわざ衣類を持ち込んでくださる来場が多くいた。
- ・そのためか、施設拠点に比べて比較的状态の良いものを持ち込んでくださる方が多かった。

## 5. 事業の成果

### 全体実績

■ リユース率 ■ リサイクル率



- ・ 総数：17拠点・10開催
- ・ 総回収量：1,803.23kg
- ・ 平均回収量：68kg
- ・ 廃棄量：0kg

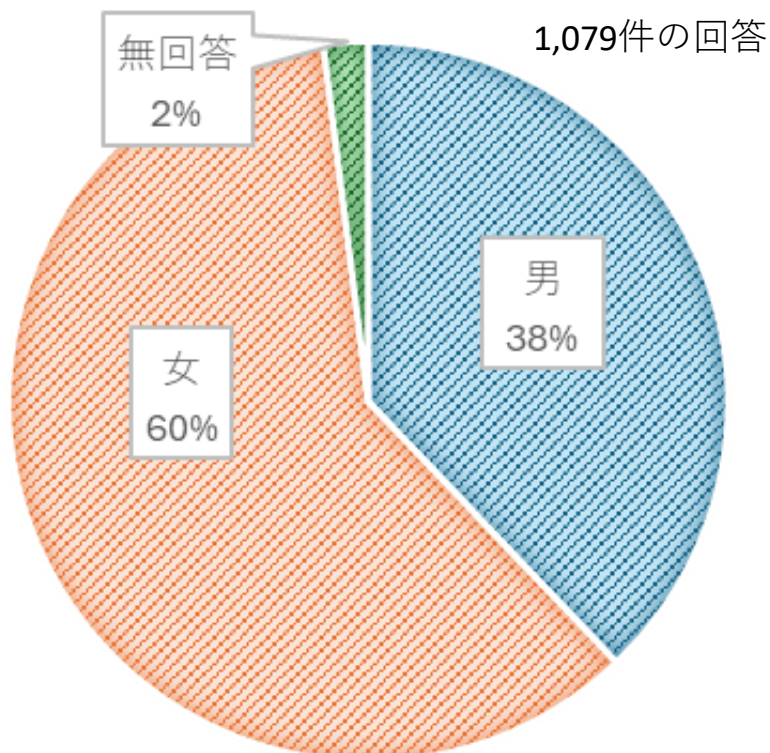
- ・ 基本的には、リユースを目的に回収の協力を呼び掛けたため、リユース率は比較的高い結果となった。
- ・ 施設もイベントも、異物の混入はなく廃棄するものはなかった。
- ・ 南山大学のように、比較的短期間でも、呼びかけ次第では平均回収量の5倍近く集められる拠点があったため、成功事例として今後の参考としたい。

## 5. 事業の成果

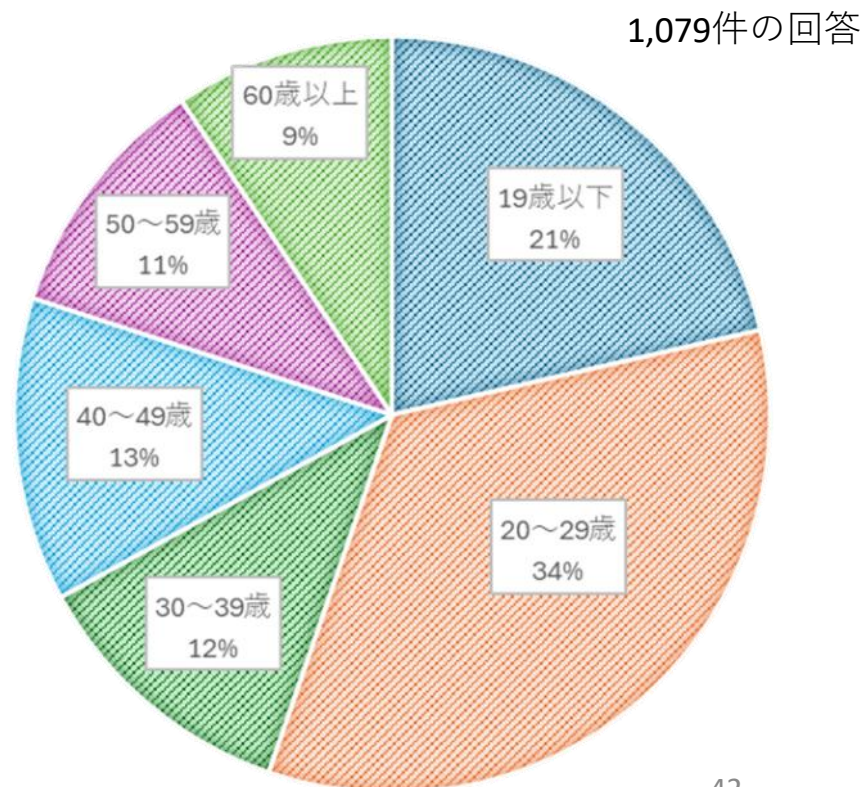
### ■循環フェス名古屋アンケート結果（¥0Market参加者に実施）

- ・約6割が10代20代の若者世代となり、本イベントのターゲット層に向けた情報発信ができた。

性別を教えてください



年齢を教えてください

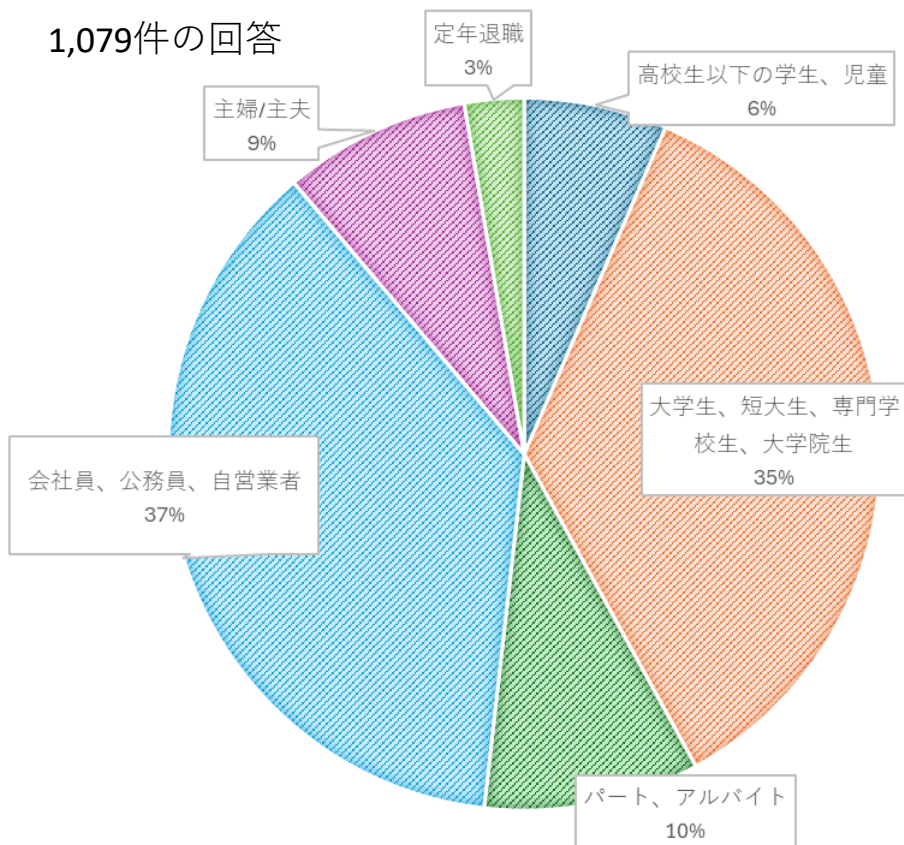


## 5. 事業の成果

### ■循環フェス名古屋アンケート結果（¥0Market参加者に実施）

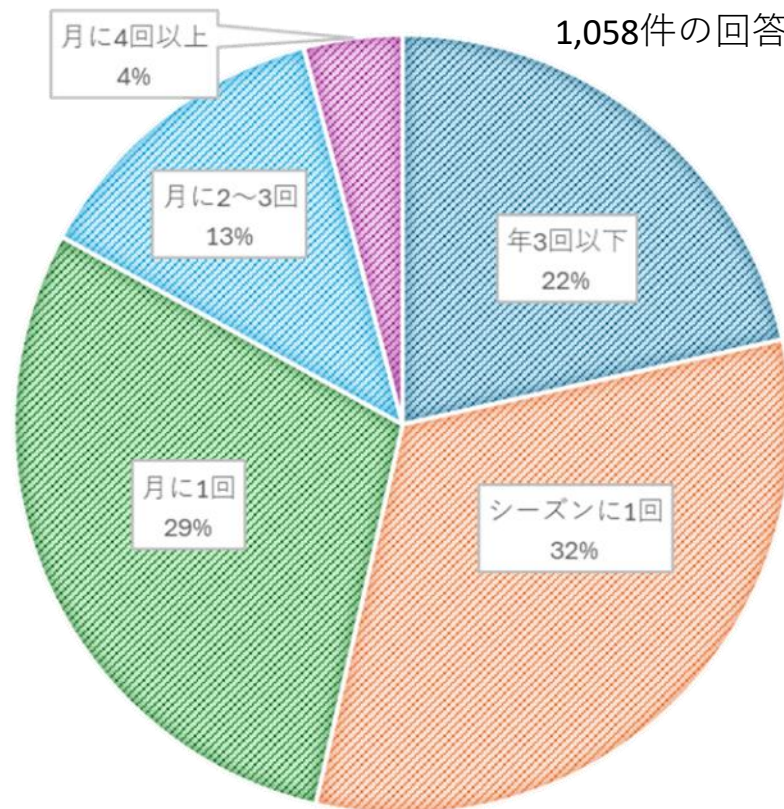
職業をおしえてください

1,079件の回答



どのくらいの頻度で洋服を購入しますか？

1,058件の回答

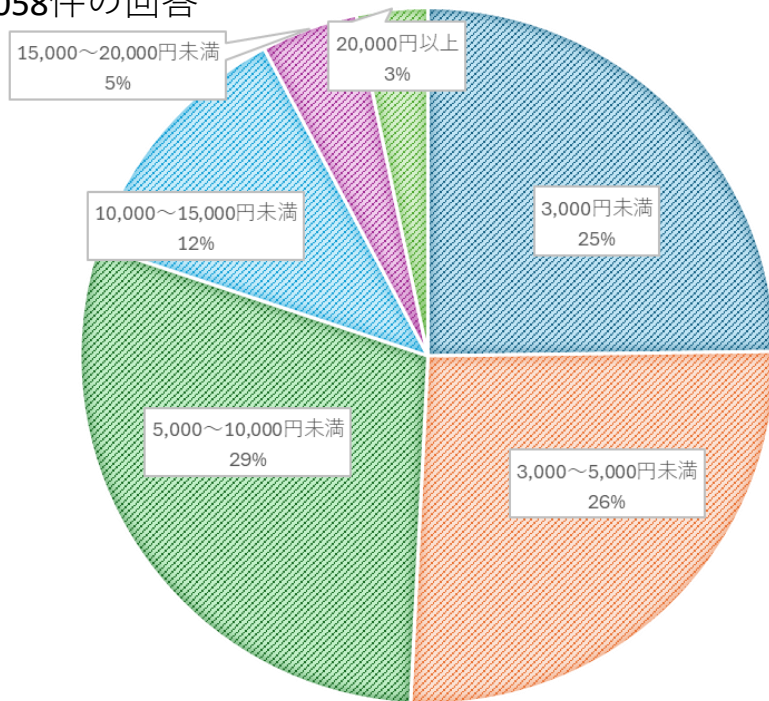


# 5. 事業の成果

## ■循環フェス名古屋アンケート結果（¥0Market参加者に実施）

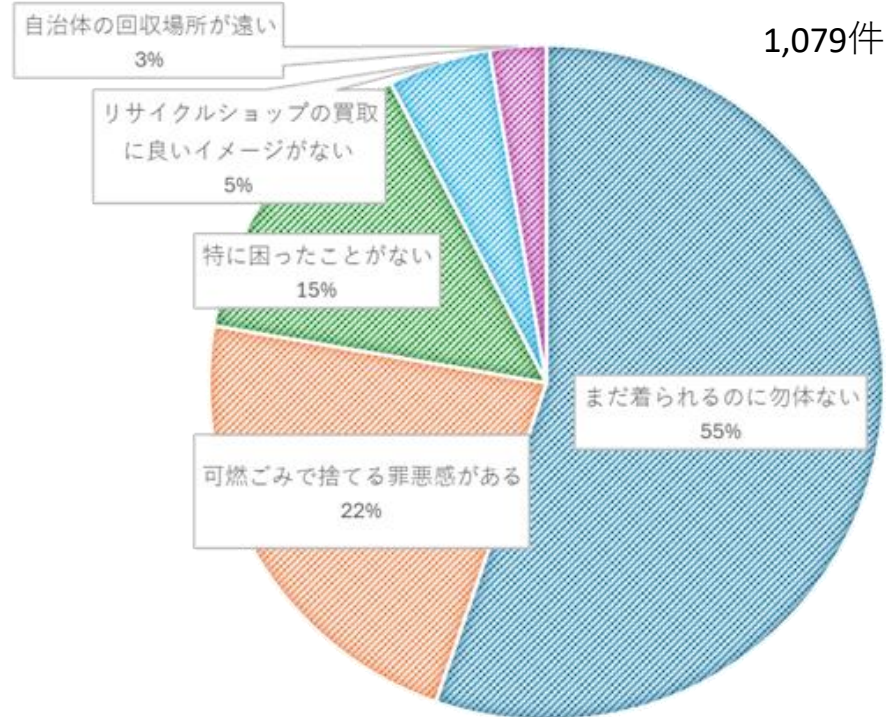
1か月で洋服の購入に使う金額は  
平均してどの程度か教えてください

1,058件の回答

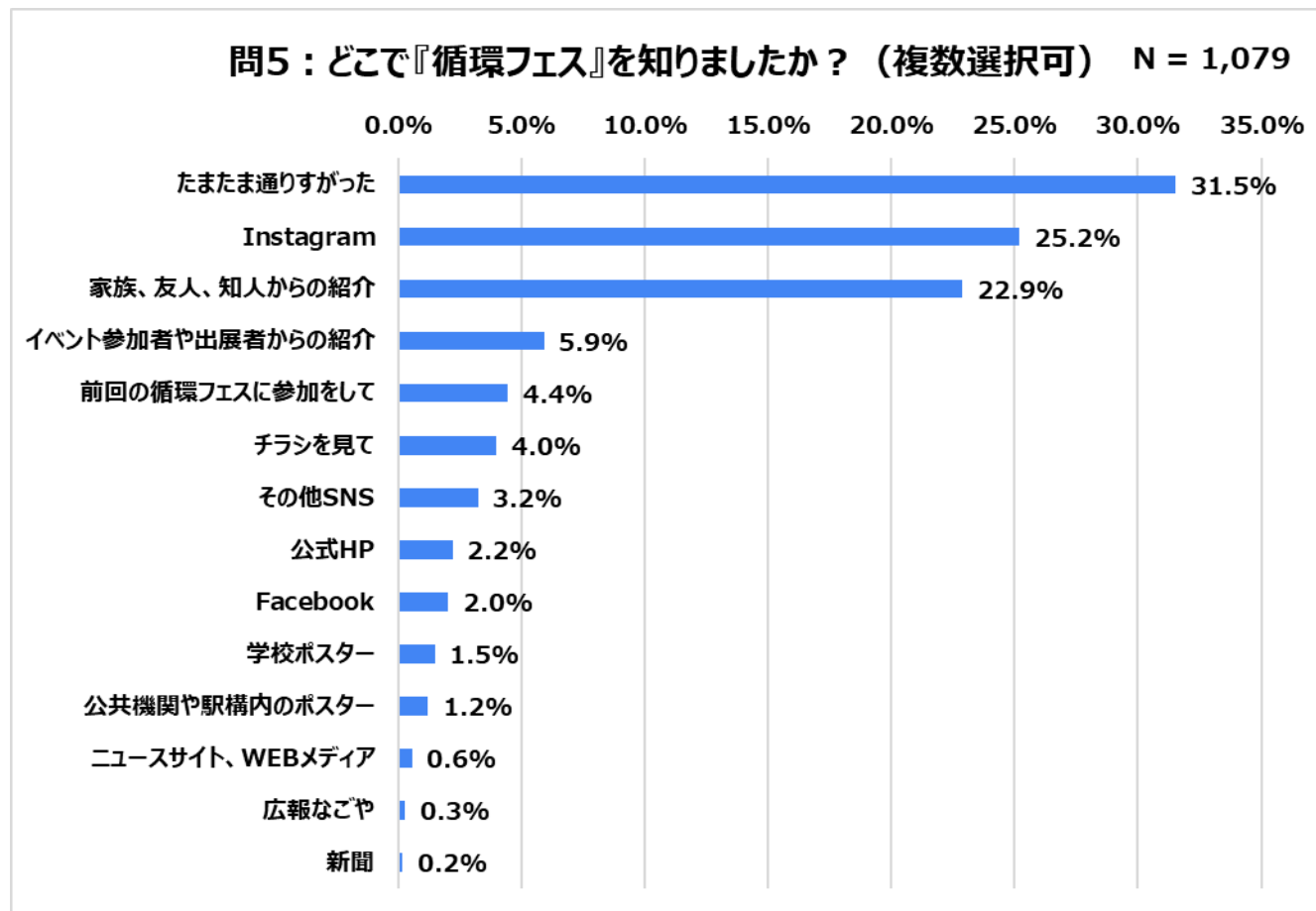


洋服を手放す際に困ることについて、  
最も当てはまるものを選択してください。

1,079件の回答



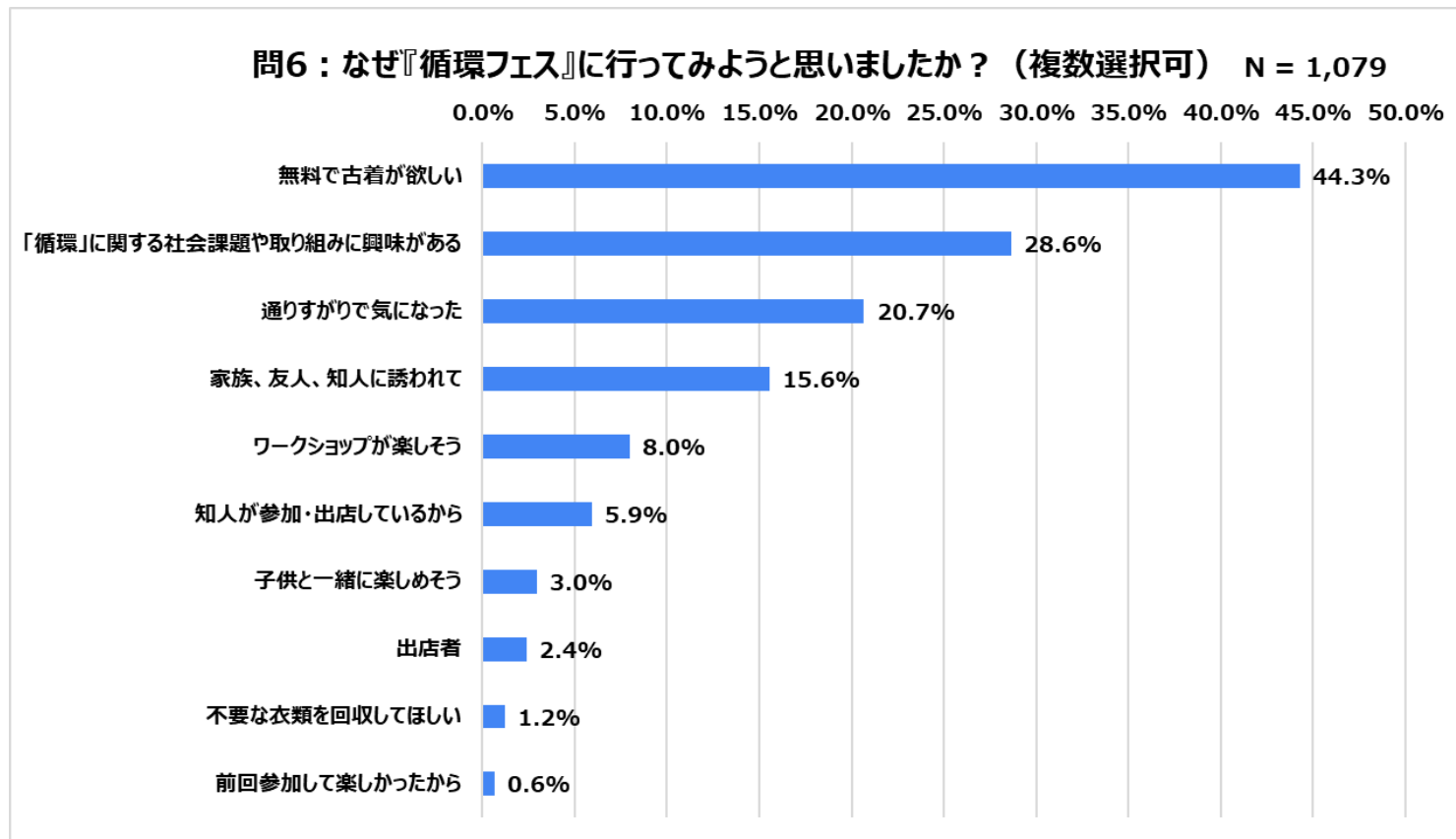
## 5. 事業の成果



<自由回答（抜粋）>

- ・栄のリサイクルイベントに参加した時
- ・Re倉庫訪問時のポスター
- ・中部リサイクル運動市民の会でアップサイクル事業に参加しています。／等

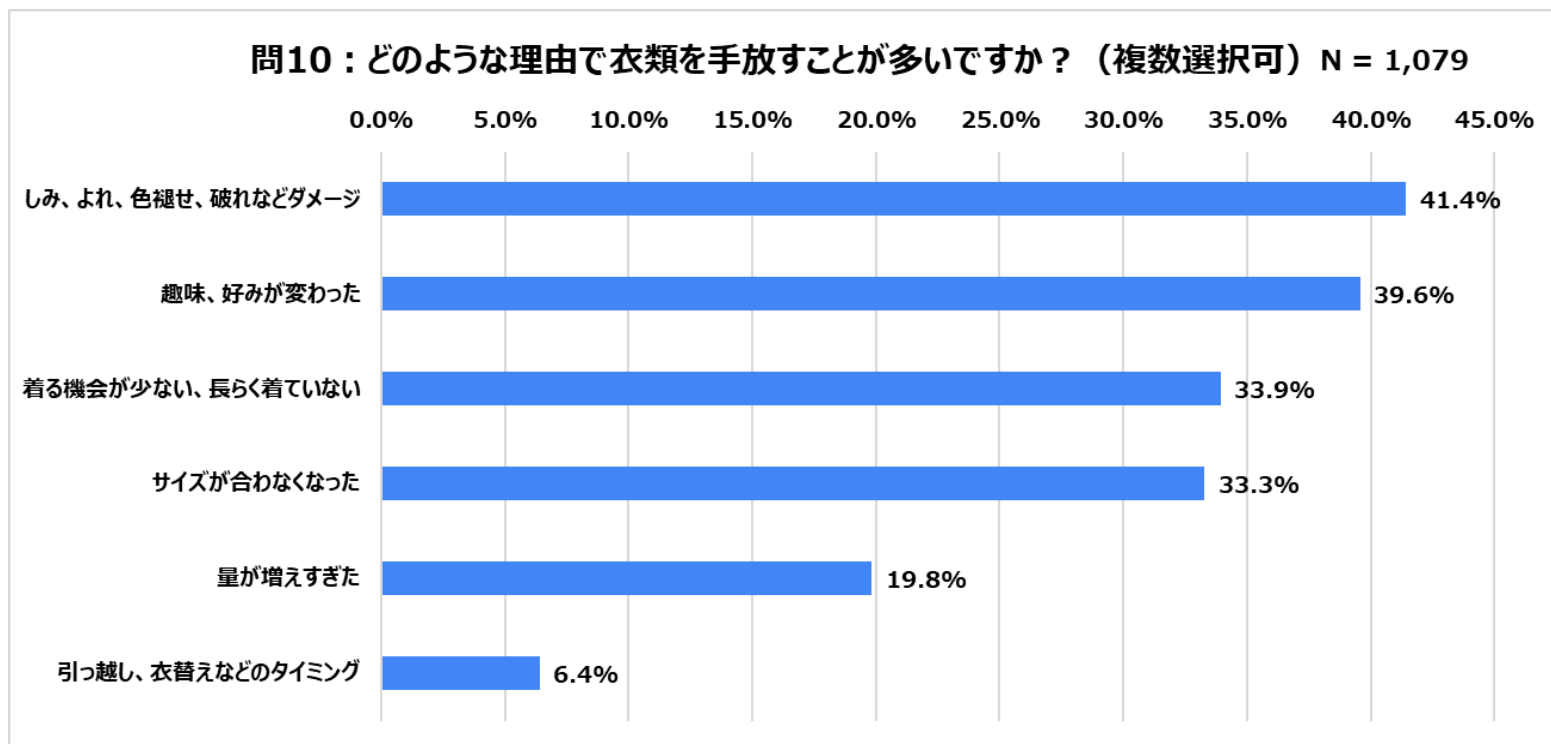
## 5. 事業の成果



<自由回答（抜粋）>

- ・捨てる以外の選択肢に惹かれた
- ・古着を出して他の人の役に立ちたかったから
- ・古着を見に来たかったから / 等

## 5. 事業の成果

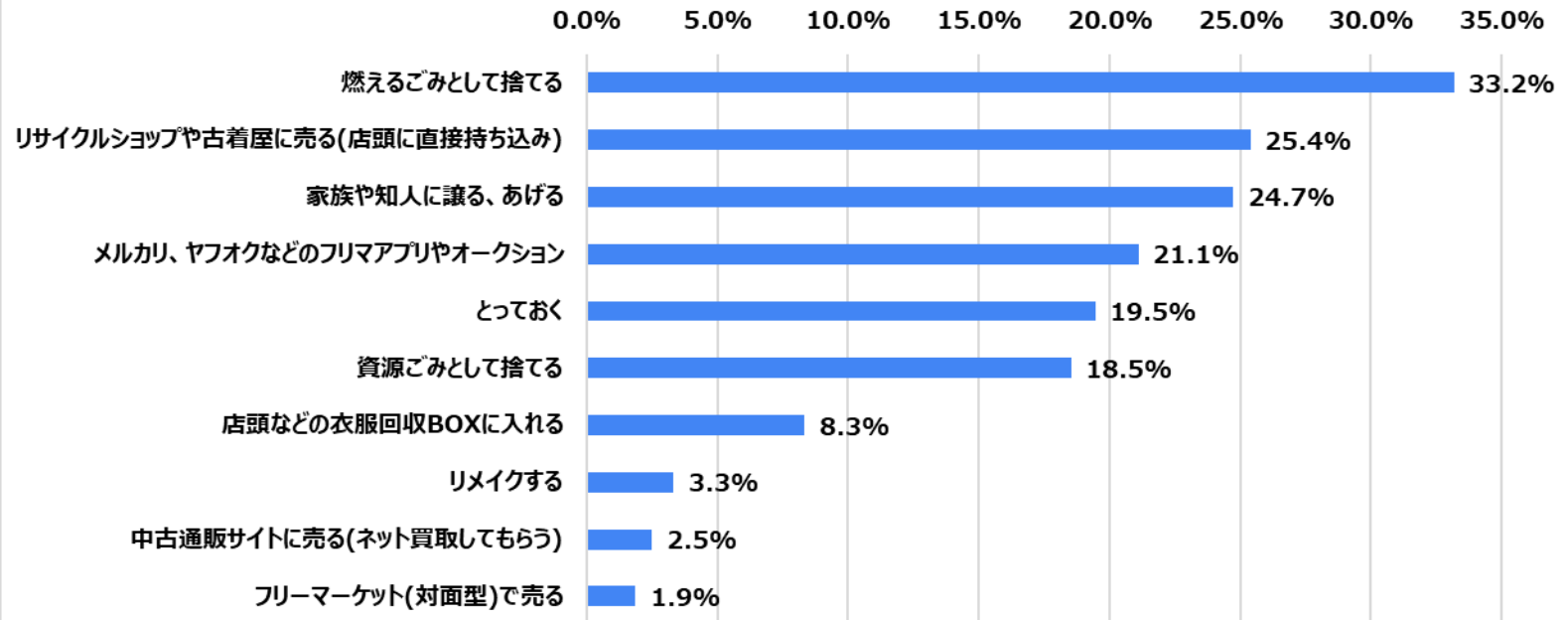


< 自由回答（抜粋） >

- ・最後まで着る
- ・手放すことはない / 等

## 5. 事業の成果

問11：現在、着なくなった衣服はどうしていますか？（複数選択可） N = 1,079



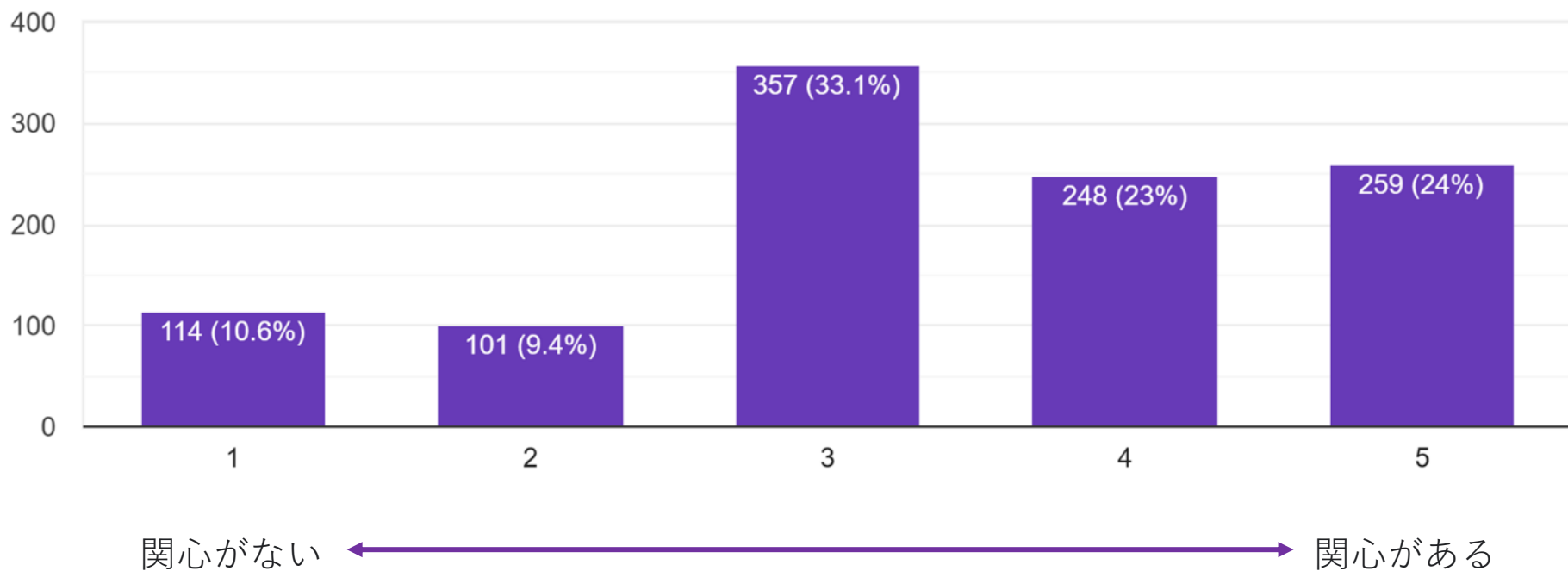
<自由回答（抜粋）>

- ・ Re創庫持ち込み
- ・ 「よしの」に持参 / 等

## 5. 事業の成果

問14：ファッション業界における大量生産、大量消費について関心がありますか？

1,079 件の回答



## 5. 事業の成果

### ■収集運搬のコストについて

- ・ 弊会は、名古屋市において1980年からリユース・リサイクルの仕組みづくりを実践している。
- ・ 名古屋市内で展開している既存の資源回収ルートを活用することにより、当初想定していた通り、当該モデル事業で新設した拠点の回収を概ね無理なく実施することができた。（※一部個別回収となったケースがあった）
- ・ 市民の利便性を考えると、衣類の回収拠点は出来る限り広く展開することが今後必要と考える。
- ・ 弊会としては、
  - ① 既存ルートと組み合わせて無理のない回収ルートを設計すること
  - ② この地域の障がい者就労支援団体が所有する送迎車両を有効活用することにより、今後新たな拠点が増えても最小限のコスト増で収集が可能であり、収集運搬が障がい者の方々の仕事づくりになると考えている。

## 5. 事業の成果（大学との連携）

- 次世代を担う学生が、社会課題を理解し、その解決に向けた取り組みに主体的に参画する機会を提供することができた。
- 学生が主体となり、ポスターの作成、授業の冒頭での取り組み紹介（下写真）などを積極的に行った結果、南山大学では予想を上回る回収量（当該事業平均回収量の5倍）を確保することができた。
- 学生が動くことで、多くの学校関係者にも衣類循環に対する理解が広がった。
- BOXの管理についても、学生が主体的に動いたことで、効率的に実施することができた。
- 学内設置に協力してくれた多くの学生が、循環フェス名古屋の実行委員としても参画してくれた。



南山大学学生による授業冒頭での呼びかけ



南山大学学生による授業冒頭での呼びかけ

## 5. 事業の成果（企業との連携）

- 社員が参加できる社会貢献活動の一環として、循環フェス名古屋への協力や、回収BOX設置について関心を寄せて下さる企業もあり、今後の更なる取り組みの拡大が期待できる。
- 特に、循環フェス名古屋は若者が主体的に関わる環境イベントのため、多くの企業から趣旨に賛同いただけることが分かった。
- 当該事業により、学生×企業×行政×NPOの連携による衣類循環の輪が構築された。今後はこの輪を更に大きくするため、回収拠点の拡大と循環フェス名古屋の開催内容の充実を図りたいと考えている。**

### 実行委員（6団体・個人）

- 認定NPO法人中部リサイクル運動市民の会
- 名古屋市
- ㈱ヒューマンフォーラム
- ㈱折兼
- 愛知大学 国際協力団体SEED有志
- 南山大学 学生有志

### 後援（3団体）

- 豊明市
- 愛知県
- 中部地方環境事務所

### 協力

- THE NORTH FACE
- patagonia
- spinns
- 河田フェザー㈱
- ㈱リバイブ など

### 協賛企業（10企業・団体）

- コールマン
- ささしまライブまちづくり協議会
- ㈱中西
- NEO VINTAGE
- ㈱中日メディアプレーン
- 福田三商㈱
- ㈱ものづくり文化の道
- ㈱石川マテリアル
- ㈱西山商店
- ㈱ジェイ・エス・ビー

本イベントの運営費の一部は、環境省令和6年度補正予算 使用済衣類回収のシステム構築に関するモデル実証事業の助成を受けて実施しています。

循環フェス名古屋  
協力企業・団体等一覧

## 6. 今後の検討課題

### ～拠点回収について～

- ・回収BOXの設置にご協力を頂いたが、当該モデル期間中の回収量がゼロの拠点があった。  
→利用者が衣類を持ち込みやすい目立つPOPの制作が必要  
また、拠点従業員が利用者に対して、呼びかけやすいマニュアル等の作成が必要

### ～大学との連携について～

- ・当該取り組みの趣旨には賛同いただけたが、環境系の学生サークルが活発でない大学ではBOXの設置に至らなかった。  
→学生サークルだけでなく、SDGsをテーマとしてるゼミなどを含め、幅広く連携の可能性を提案することが必要

### ～収集運搬について～

- ・既存の資源回収拠点の回収量が増える繁忙期が11月～12月ということもあり、当該モデル事業で新設した回収拠点からの依頼後、既存のルートに組み込むことが困難となったケースがあった。  
→繁忙期対策として、新設拠点の保管量がいっぱいになる前に、予め既存ルートに組み込むなど、余裕を持った対応が必要

## 7. 事業終了後の展開

- 引き続き循環フェス名古屋を定期的で開催するとともに、常設拠点を増やし、回収×イベントの両面での衣類循環の輪を広げる。
- 今回の大学での取り組みをモデルとして、この地域の他大学へのBOX設置と、主体的に関わる学生グループとの連携を図る。
- 生活困窮世帯とのつながりを増やす。
- 衣類の回収業務を、障がい者の方々の仕事として提供できるよう、引き続き障がい者就労支援団体との連携を深める。
- アップサイクルについては、当該事業によりファッション専門学校の授業の一部として取り入れて頂くことができたため、関係性を深めて他の学校への横展開を検討する。

## 8. 横展開へのポイント（大学との連携）

- 「環境問題」や「SDGs」をテーマとした学生サークルがあると連携がしやすい。
- 衣類は、学生にとっても身近なテーマであり、自分の普段の生活を見つめ直すきっかけにもなるため、自分ごととして捉えて取り組みやすい。
- 衣類のリサイクル施設の見学会を企画することで、学生の理解を深められる。
- 大学によっては、学内へのBOX設置等の申請に時間を要する場合があるため、予め過去の申請内容や申請書類をサンプルとして共有しておくが良い。
- BOXの設置と合わせて、学内での保管場所の確保も検討する必要がある。
- 試験期間や夏休み、学校行事の際の対応も予め検討しておく必要がある。



南山大学での衣類引き取り

## 8. 横展開へのポイント（イベント開催）

### 【工夫点・課題等】

- ・ 地域の実情（リサイクル率の低迷など）を伝える
- ・ 回収だけでなく、循環フェス名古屋などの取り組みとセットで提案する
- ・ Z世代を巻き込むことのできるツールであることを伝える
- ・ 衣類循環は全ての人に関係がある社会課題のため、地域が一体となって解決する必要があることを伝える

### 【横展開のために実施すること】

- ・ 多くの自治体で衣類のリサイクル低迷は共通課題のため、回収BOXの設置と循環フェスをセットで実施することで、多くの若者や企業を巻き込むことができる強みをアピールして自治体への提案活動を行う。
- ・ 古着は他の資源と異なりファッションアイテムとして扱うことができ、若者が関心を持ちやすい。そうした特性により、「循環フェス」は従来の環境イベントに比して若者に訴求力の高いものとなっている。その点を訴え、若者との接点を持ちたい地域の企業のSDGs活動参加の場として活用していく。